

英語語法文法学会第30回記念大会プログラム

日時：2022年10月15日（土）10:30-18:00

今年度はオンライン開催となります。

オンライン開催の概要

- ・「総会」と「ワークショップ・研究発表・記念講演」とでは開催方式が異なります。
- ・「総会」は10月15日（土）10:00～10月21日（金）18:00の間、プログラムと資料を本学会ウェブサイトにて公開します。
- ・「ワークショップ・研究発表・記念講演」はZoomを利用して行います。
- ・アクセスのためのID・パスワードは別途会員に通知します。

総会（本学会ウェブサイト）

開会の辞／学会賞・奨励賞選考報告	会 長	中澤和夫（青山学院大学名誉教授）
事務局報告	事務局長	西脇幸太（愛知文教大学）
会計報告	会 計	佐藤健児（日本大学）

ワークショップ（Zoom）10:30-11:45

司 会 松原史典（京都女子大学）

1. 「Could care less にかかわる語用論的要因」……………大野真機（昭和大学）
2. 「派生名詞 slowness の統語と意味」……………桑名保智（旭川医科大学）
3. 「「主動詞+a look (at)」の意味と語法」……………井口智彰（大島商船高等専門学校）

研究発表（Zoom）13:00-14:45

司 会 山岡 洋（桜美林大学）

1. 「補文を伴う非人称 it 構文に現れる time の用法について
—述語 possible との比較を通して—」……………寺山里穂（金沢大学大学院）
2. 「be about to に関する一考察」……………岡 麟太郎（日本大学大学院）
3. 「文副詞 wisely の記述的考察」……………西村知修（石川工業高等専門学校）

記念講演（Zoom）15:00-18:00

司 会 会長 中澤和夫（青山学院大学名誉教授）

1. 「実証的英語学研究の一方法」……………八木克正（関西学院大学名誉教授）
2. 「人は世界をどのように認識し、ことばにしているか」…安井 泉（筑波大学名誉教授）
3. 「語法・文法研究から語用論へ、あるいは語用論から語法・文法研究へ」
……………内田聖二（奈良大学特命教授）

閉会の辞 佐藤健児（日本大学）

連絡先：英語語法文法学会

〒485-8565 愛知県小牧市大草 5969-3 愛知文教大学人文学部人文学科 西脇幸太 研究室内

TEL：0568-78-2211（代表）FAX：0568-78-2240（代表）

（Email: segu.office@gmail.com ウェブサイト: <http://segu.sakura.ne.jp>）